



～地域とともにある学校をめざして～

鯨コミ

R6年度 CS通信No.16 R7.3.27



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

西海小学校で卒業式予行練習(3/18)



西海小学校では、3月21日(金)の卒業証書授与式に備え、3月18日(火)に本番と同じ時間帯と式次第による予行練習が行われました。

予行練習では、11名の学校支援ボランティアが来賓席に座り、卒業生が卒業証書を受け取る姿を見守りました。

学校支援ボランティアの皆さんが近くで見守ることによって、本番に近い雰囲気緊張感を持って練習することができます。子どもたちは、最初、緊張しているようで、声が小さく感じられましたが、在校生の歌、卒業生の歌、全校児童による校歌と進むにつれて、調子が出てきました。

協力してくれた学校支援ボランティアの皆さんに話を聞いてみると、

「子どもたちの姿勢が良くて感心した。長い時間でも良い姿勢を保っていて、すばらしい。」

「歌が上手で感動し、涙が出てきた。」

「本番でもこの調子で頑張ってほしい。」

と話していました。

舞戸小学校で卒業証書授与式挙行(3/19)



3月19日(水)舞戸小学校で卒業証書授与式が行われ、24名の卒業生が旅立ちました。

式では、入学してから6年間の学校生活の思い出を学年ごとに順番に語りました。

また、見守ってくれた地域の方々、教え導いてくれた先生方、一番近くで見守り、育ててくれた家族の皆さんなど、たくさんの人に巡り合い支えられてきたことに対して、心を込めて感謝の気持ちを伝えていました。

卒業生の歌「最後のチャイム」は、今の気持ちを素直に表現した歌で、これから始まる新しい生活に期待感を持ちながら、感動的に歌いました。

鯨ヶ沢中で第1・2学年郷土カルタ大会(3/25)



この日、1・2年生が学年ごとにカルタ大会を行いました。第1学年では、生徒が、10チームに分かれて、3試合を行い、その合計点でカルタ王を競いました。試合は、生徒全員が、必ず1回は、相手と対戦できるように行いました。

西海小出身の生徒は、小学校で6年間校内カルタ大会を経験しているので、札を取るのがとても速いです。一方、舞戸小出身の生徒は、カルタ大会が初めてで、最初は苦戦しましたが、慣れてくると次第に調子よく取れるようになりました。中には、事前にカルタを暗記して、上の句を詠むとすぐに札を取れる生徒もいました。

学校としても、初めてのカルタ大会でしたが、カルタを取ったときの喜びやチームで高得点を取ったときの歓声が教室内に響き、笑顔が満ち溢れていました。

鯨ヶ沢町の歴史・文化・風土を学ぶ大変良い機会にもなったと思います。